

令和4年度川西市一般会計補正予算(第3回)修正案について提案説明を行います。

清和台幼稚園廃園に伴う牧の台みどりこども園への通園支援にかかる追加額を削除し、第1条第1項中「2億1415万円」を「2億1184万9千円」に、「598億5105万7千円」を「598億4875万6千円」に修正するものです。

歳入につきましては、第21款:繰越金、第1項:繰越金、第1目繰越金におきまして01前年度繰越金の追加部分230万1000円を削除し1013万6千円に。

歳出につきましては、第3款;民生費、第3項:児童福祉費、第3目;保育所費、事業区分12の幼児教育・保育推進事業におきまして、13節:使用料及び賃借料の230万1千円の追加部分を削除し補正額1795万1千円に。これらにより補正後における同項の額を49億8121万円にするものです。

修正に関する提案理由について

提案されている令和4年度川西市一般会計補正予算(第3回)には、清和台幼稚園廃園を前提に1世帯分のタクシー送迎費用として230万1000円が計上されています。日本共産党議員団の質疑資料で対象世帯:1世帯・人数:2人

1日単価:1万7700円・日数130日という詳細内容が明らかになりました。

清和台幼稚園の廃園について、市は、市立就学前教育保育施設のあり方の中で今年度突然廃園する方針は決めています。正式に廃園を決定するための関係条例の提案が行われておらず議会でも審議されておらず決定していません。決定していないにもかかわらず先行して予算を提案し委員会質疑で方向性を定めているので進捗を図ると言う答弁があり、議会軽視と言わなければなりません。

今年度は、清和台幼稚園、牧の台みどりこども園の園区は、現状のまま存在しています。清和台から年度途中、定員超過の場合、園区をまたぐことはできないはず。令和4年4月、牧の台みどりこども園は、定員130人に対し135人、5人超過でスタートしました。4月入園できなかった園区外の子どもたちがいる中、園区外からの子どもを年度途中入園を認めたい。清和台幼稚園は3歳児保育をしていないのに3歳児入園を認める提案、通園支援策のあり方については、判断に至るプロセスが不明瞭なうえ、公正性、公平性、透明性の観点から疑義を持たれるものになっています。

通園支援策については、1世帯に1多額の税金を使うやり方ではなく、清和台幼稚園の園区に居住し、廃園後、公立園所を希望するものすべてが支援を受けることができる施策にし、再考するべきです。加えて、現在、清和台幼稚園に通っている4歳児が卒園するまでは、廃園するべきではありません。

以上が本修正案提出の理由です。